

ESD推進ネットワーク全国フォーラム2023 セッション1「気候変動を切り口としたESDの意義とひろがり」

【話題提供】

中小企業を対象とした研修教材の紹介



2023年12月9日(土)

全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCEA)

事務局長 平田裕之

今週半ばまで、COP28ドバイに参加
してきました！

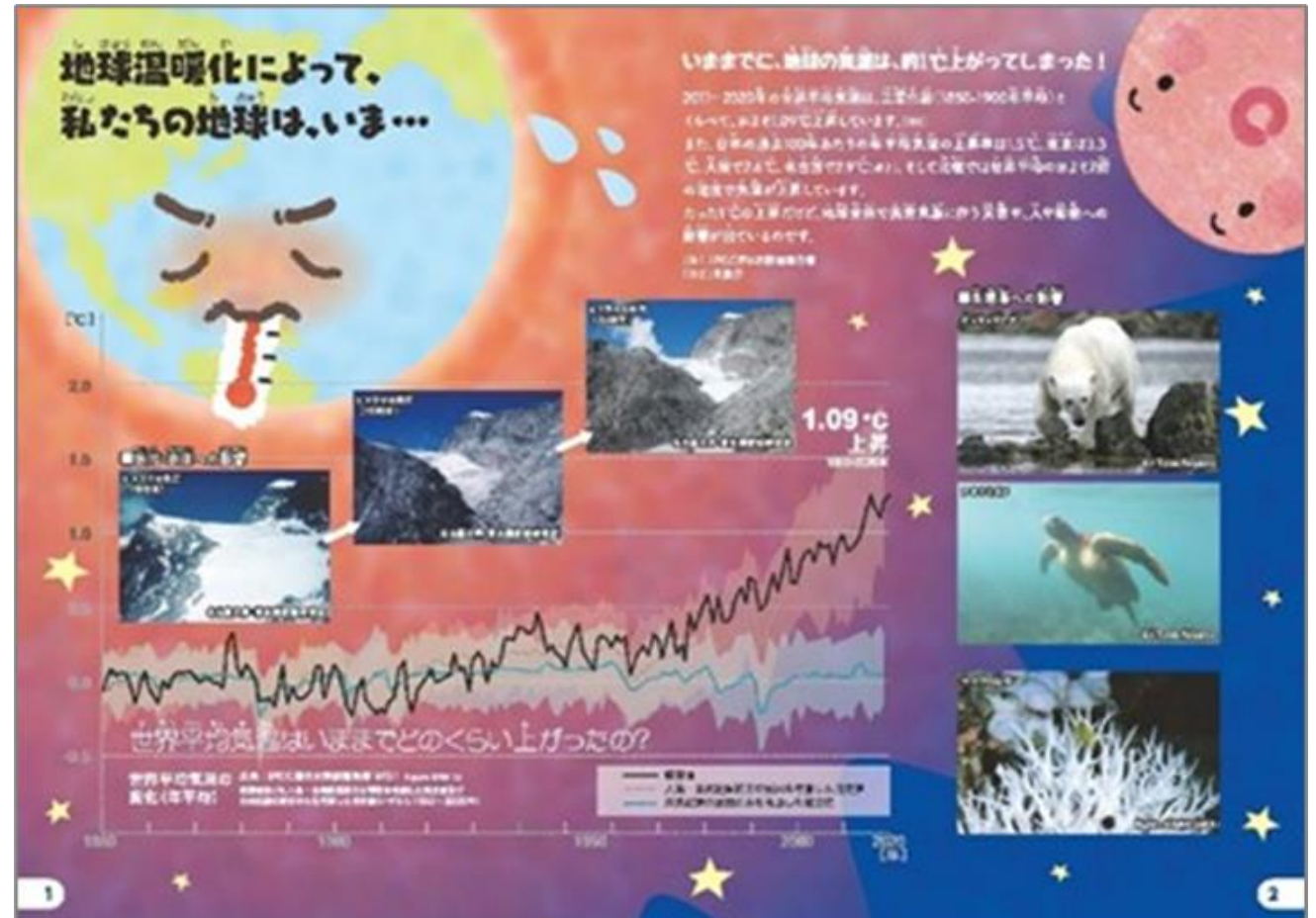


地球温暖化防止活動推進センター等

- 全国地球温暖化防止活動推進センター（環境大臣指定）
一般社団法人地球温暖化防止全国ネットを指定
 - 地域地球温暖化防止活動推進センター（県知事等指定）
 - 地球温暖化防止活動推進員を県知事等が委嘱
- 地域地球温暖化防止活動推進センターの事務に、事業者向け啓発・広報活動を明記。**

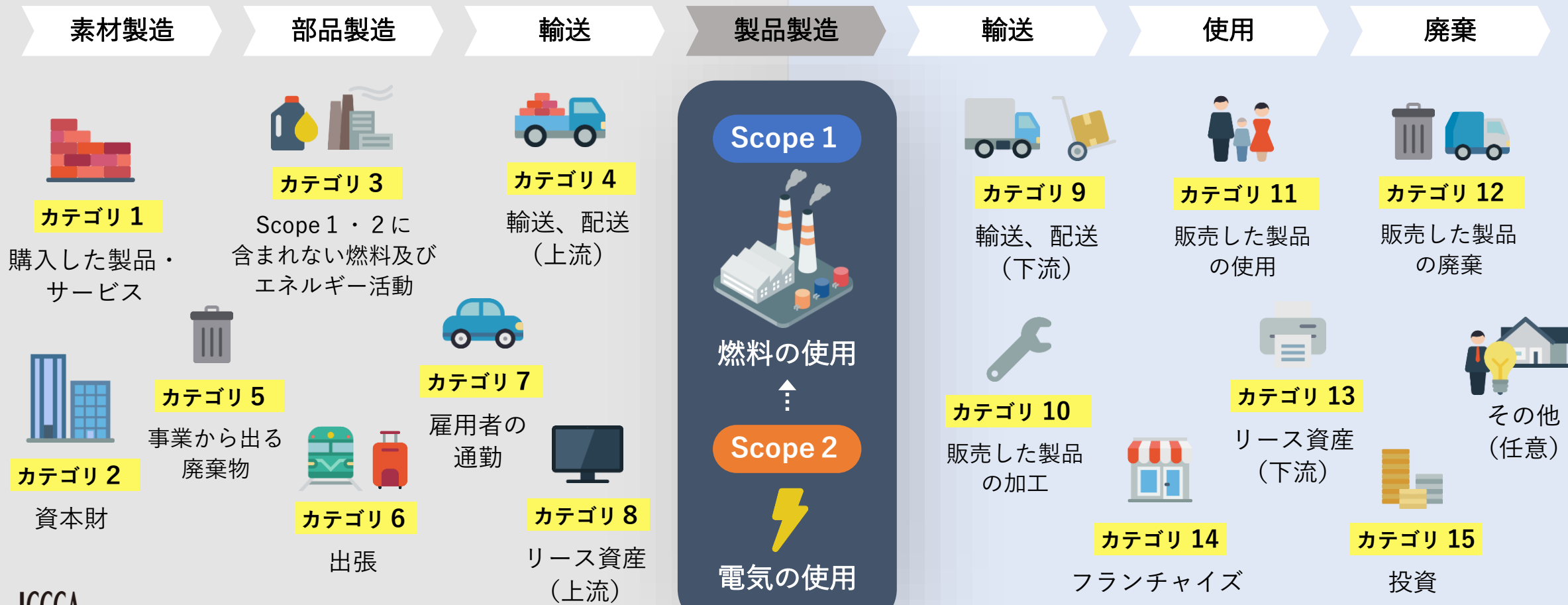
ところが、問題が発生

1. JCCCAのツールの多くは子供用、ターゲットのミスマッチ
2. 経営者に対するアプローチ方法を知らない



1 - 取引先からの除外 -

Scope 3 (事業者の活動に関連する他社の排出) の15の 카테고리



「減らす（削減計画）」の具体的なアクション

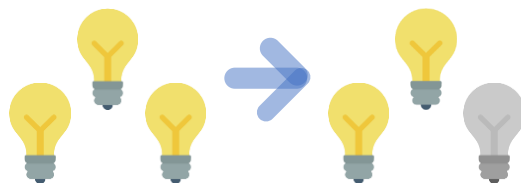
3-1 削減計画の策定

CO₂排出源を分析し、削減対策を洗い出して実施可能な削減対策をリストアップ、実施計画を策定する。

減らす

エネルギーの使用量を減らす

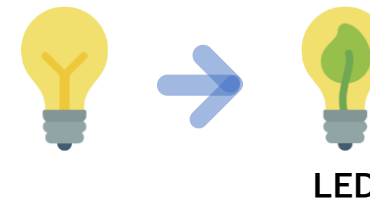
- ✓ 照明を間引く
- ✓ 休憩時間に消灯する
- ✓ エコドライブ



改善する

設備の効率を改善する

- ✓ LEDなど高効率設備に更新する
- ✓ エアコン等のフィルターを清掃する



切り替える

エネルギー種別を切り替える

- ✓ EVの導入
- ✓ 低炭素なエネルギーに切り替える
- ✓ 再エネ電気の購入



作る

エネルギーを作る

- ✓ 太陽光発電設備の導入
- ✓ マイクロ水力発電の導入



企業（業種）に合った内容やご希望の内容にカスタマイズ！

自動保存 ● 脱炭素セミナースライド_m... • ¥129,43.50.2¥Share に保存済み

検索 202_小野 英樹

ファイル ホーム 挿入 描画 デザイン 画面切り替え アニメーション スライドショー 記録 校閲 表示 ヘルプ ACROBAT

貼り付け 挿入 新規の スライドの レイアウト リセット セクション

クリップボード スライド フォント 段落 図形 配置 クイックスタイル 図形の塗りつぶし 図形の枠線 図形の効果

検索 置換 選択 編集

ディクテーション 音声 デザイナー

1 セミナータイトル

2 Contents

3 気候変動の基礎理解

4 どうして地球が温暖化するの？

5 現在に地球は温暖化しているのか？

6 未来に地球が温暖化しているのか？

16 14 12 10 8 6 4 2 0 2 4 6 8 10 12 14 16

約70ページから必要なものを抜粋

どうして地球が温暖化するの？

温室効果ガスの増加により、地球の気温が上昇している

太陽からの光 大気 (温室効果ガス) 熱の放出 熱の放出

約200年前の地球 現在の地球

温室効果ガスの総排出量の内訳 (CO₂換算ベース)

温室効果ガス	割合
二酸化炭素 (CO ₂)	75.0%
メタン	18.0%
一酸化二窒素	4.0%

温室効果ガスの75%はCO₂

資料の詳細案内 (資料)

現在、地球の平均気温は14℃前後ですが、もし大気中に水蒸気、二酸化炭素、メタンなどの温室効果ガスがなければ、マイナス19℃くらいになります。太陽から地球に降り注ぐ光は、地球の大気を素通りして地面を暖め、その地表から放射される熱を温室効果ガスが吸収し大気を暖めているからです。近年、産業活動が活発になり、二酸化炭素、メタン、さらにはフロン類などの温室効果ガスが大量に排出されて大気中の濃度が高まり熱の吸収が増えた結果、気温が上昇し始めています。これが地球温暖化です。

世界全体から排出される温室効果ガスのうち、75%を占めているのは二酸化炭素 (CO₂) です。二酸化炭素は、化石燃料の燃焼や森林伐採などによって排出されます。メタンは、家畜の消化管内発酵や家畜排せつ物の処理から排出されます。一酸化二窒素は、肥料の使用や燃料の燃焼によって排出されます。フロン類は、冷蔵庫やエアコンなどの冷媒として使用されているもので、最後に大気中に放出されることで温室効果ガスとなります。

【企業の従業員向け研修ツール(セミナー資料)の制作】

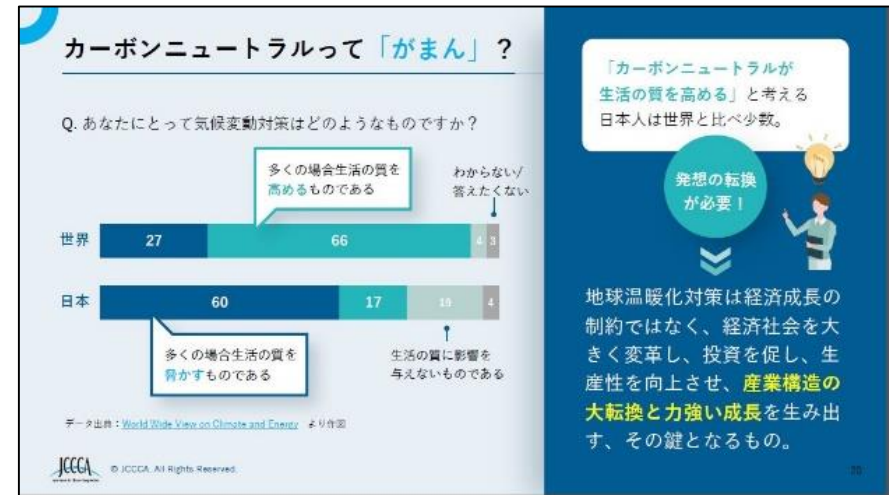
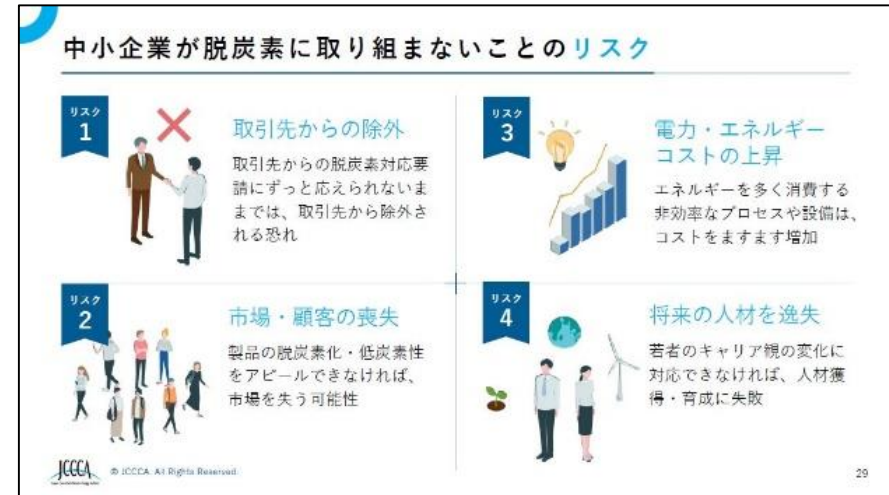
全国各地の
中小企業へ



**60センター
318名に
共通ツールを提供**

ポイント

- ・地域センターの「強み」である「普及・啓発」を活かしたツール
- ・地域センタースタッフ向けの研修での使い方を解説



9月からの進捗状況

- ツールについては好評
(47/60 ダウンロード)
- 大学の研修などにも活用
- でも実際の企業研修での活用
 - 実施5件（群馬、大分、福岡、福井、島根）
 - 営業が苦手、営業手法の習得が必要

【地域センターの感想】

このツールによって、企業向け研修のハードルを下げることができ、**企業支援の一步を踏み出す**のに大いに役立った。**内容は網羅的**であり全体の情報量が多いが、各スライドにコンパクトに情報がまとめられているため、取捨選択が容易であり、**内容の再構成がしやすかった**。今回の資料の再構成に要した時間は、実質1時間弱と**資料作成の大幅な短縮**にもなった。研修を実施する際は、対象となる**業界や参加者の属性に合わせたスライドの選択が重要**であり、さらに補足的な資料や説明を加えるなど工夫次第で、より参加者の理解を深められると感じた。

→ 知見をネットワークで共有・&蓄積

中小企業の研修開催へのお問い合わせは

JCCCAまたは地域センターへ